

## バルバッド出身の主な登場人物

第3王子／霧の団頭領

アリババ・サルージャ

第1王子／第23代バルバッド国王

アブマド・サルージャ

第2王子／副王

サブマド・サルージャ

第22代バルバッド国王

ラシッド・サルージャ

元王宮の下女／アリババの母

アニス

バルバッド王国軍・右将軍

バルカーク

スラム住民／アリババの親友

カシム

霧の団の実質的リーダー

スラム住民／霧の団幹部

ザイナブ

スラム住民／霧の団幹部

ハッサン

スラム住民／霧の団幹部

タリク

スラム住民／霧の団幹部

ワリード

スラム住民／カシムの妹

マリナム

ハッサンとザイナブの間に生まれた子供

ザッサン

アブマドの圧政を逃れ、難民となった少女

ナージャ



## 煌帝国が仕掛けた経済侵略の こわろいカラクリとは…。

最初は煌<sup>フアン</sup>を使った交易で儲けさせ、警戒心を解くことに専念。警戒心が薄れてきたら、次は<sup>フアン</sup>での交易量を拡大させていく。交易拡大に必要な煌<sup>フアン</sup>はアブマドの求めに応じて積極的に融資し、煌帝国との交易なしでは王国経済が成り立たなくなる状態を作り出す。最後は煌<sup>フアン</sup>の価値を操作して王国経済へ大打撃を与え、財政破綻に追い込む。そして追加融資の担保という名目で国の主権を奪っていく。これが経済侵略のカラクリである。煌<sup>フアン</sup>という「ただの紙切れ」で一国をのっとりた煌帝国。これも謀将・練紅明の発案…だとしたら恐ろしい限りである。